

授業科目名	早期体験演習(2300301)		
時間割名	早期体験演習(70201)		
時間割担当	中馬成子		
実施期	前期	単位数	1 必修
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

できるだけ早く実際の医療現場に触れ、将来目指す看護師を明確にイメージし、学習意欲を高める。看護の対象となる人々や医療チームのメンバーと信頼を築くための基本となるコミュニケーション方法を観察し、その内容について討議を行う。また、外来患者、入院患者、看護師と共に行動し、入院までの流れや病院の仕組み、看護の機能を学習し、将来医療に従事する者として看護の在り方を考える。この科目は、基礎看護学実習 とリンクして学習し、基礎看護学実習の導入とする。

学習の到達目標

1. 入院までの流れ・病院の仕組みおよび看護の機能を理解する。
2. 看護の対象となる人々や医療チームメンバーと信頼関係を築くためのコミュニケーションの在り方を学ぶ。
3. 医療チームメンバーとその役割や連携について理解する。
4. 将来目指す看護師像を明確にイメージし、今後の学習の必要性や重要性を理解する。

授業方法・形式

1. 学内事前準備（オリエンテーション含む）、病院における実習、実習後のまとめ、で構成する。
2. 科目の目的・目標を参考に、自己の行動目標および課題を設定し、演習に臨む。
3. 事前学習として、「看護職に求められる能力とは」についてグループワークを行い、まとめる。
4. 自分が出向く演習病院が決まったら、事前に文献やインターネットなどで病院の概要について調べておく。
5. 目標が達成できるように病院において担当看護師のシャドーイングを行う。
6. 学習した内容はグループカンファレンスを通して共有する。
7. 演習終了後には、提示されたテーマの課題レポートを期限内に提出する。

授業計画

- 第1回 全体オリエンテーション 学内
- 第2回 実習病院別オリエンテーション
- 第3回 事前学習（全体）
- 第4回 事前学習（グループ）
- 第5回 事前学習（グループ）
- 第6回 病院での実習
- ～
- 第13回 病院での実習
- 第14回 まとめ（学内）
- 第15回 まとめ（学内）

成績評価の基準

早期体験演習評価表、レポート、実習記録、演習中の学習態度、カンファレンスへの参加状況、早期体験演習自己評価表、などを総合的に評価する。

授業時間外の課題

担当教員より事前に説明します。

メッセージ

入学後もっともはやい時期に臨地に出かけて医療の現場を見学し、看護職や他職種の在り方について考える機会をもちます。看護学生としての自覚を養い、学習に励む素地をつくることを目指しています。楽しく学んでください。

教材・教科書

看護学概論、その他既習科目図書、配布資料、実習要綱、早期体験演習要項など授業で用いた図書
大学生学びのハンドブック 勉強法がよくわかる

参考書

担当教員より適宜紹介します。